



主宰 **鈴木三重吉**

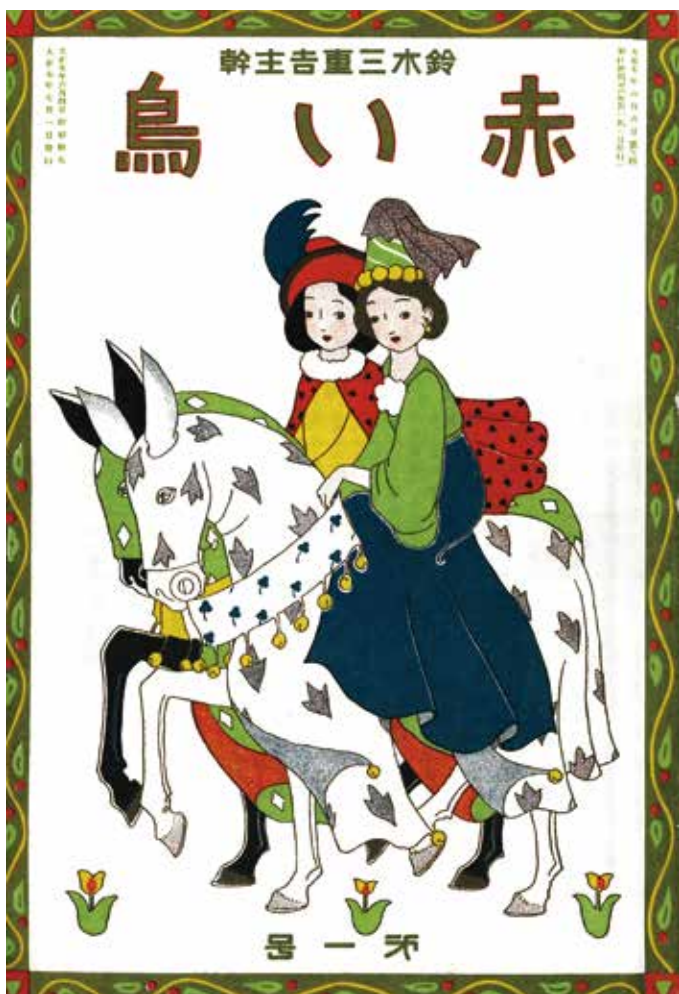
SUZUKI MIEKICHI



鈴木三重吉(大正6年)

「赤い鳥」  
創刊100年  
記念

企画展



「赤い鳥」創刊号(復刻版)

児童雑誌「赤い鳥」

AKAITORI



赤い鳥100年

「赤い鳥」と主宰 **鈴木三重吉**

EVENT  
1  
講演会

「『赤い鳥』研究の  
今、これから」

講師／武藤 清吾 氏  
(琉球大学教育学部教授)

日時／11月11日(日) 14:00～16:00

EVENT  
2  
講座

「『赤い鳥』作品を味わう  
子どもたちの拓く新たな世界」

講師／出雲 俊江 氏  
(筑紫女学園大学文学部教授)

日時／11月24日(土) 14:00～16:00

※申込方法など、詳細は裏面をご覧ください。

2018. **10.20**(土) - **12.28**(金)

\*期間中の休館日:月曜日(12月24日は開館)、11月6日(火)、27日(火)、30日(金)、12月25日(火)

\*期間中の開館時間:火～金 9:00～19:00、土・日・祝 9:00～17:00

広島市立中央図書館 2階 展示ホール

(広島市中区基町3番1号)

主催 広島市立中央図書館 協力 鈴木三重吉赤い鳥の会

入場  
無料



大正7年(1918年)、「世間の小さな人たちのために、芸術として真価ある純麗な童話と童謡を創作する」ことを目指して、広島市出身の鈴木三重吉が児童雑誌「赤い鳥」を創刊してから、今年で100年を迎えました。

「赤い鳥」からは、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」などの童話や、北原白秋、西條八十らの童謡をはじめ、現在も親しまれている多くの作品が誕生し、「ごん狐」を発表した新美南吉ら新しい童話作家、詩人が育ちました。

また、子どもたちが投稿した綴方(つづりかた)や自由詩、自由画といった作品も三重吉らの選評とともに掲載され、「赤い鳥」は日本の児童文学、児童文化に大きな影響を与えました。

企画展では、誌面を彩った作家や作品とともに、主宰の鈴木三重吉に焦点を当て、「赤い鳥」原本や三重吉の自筆資料などを展示し、紹介します。



「赤い鳥」創刊号



第9巻第2号

第17巻第2号

復刊第11巻第4号



芥川龍之介「蜘蛛の糸」(創刊号)



赤い鳥文学碑(広島市中区大手町一丁目相生橋東詰)



鈴木三重吉「ぶつぶつ屋」自筆原稿

## 企画展関連イベント

### 『赤い鳥』研究の今、これから

講演会

講師／武藤 清吾 氏(琉球大学教育学部教授)

日時／11月11日(日) 14:00～16:00

\*手話通訳、要約筆記が必要な方は10月17日(水)までにお申し込みください。

創刊以来、様々な分野で積み重ねられてきた「赤い鳥」研究の最前線について、近刊の『赤い鳥事典』の編集経験も踏まえてお話しいただきます。

### 『赤い鳥』作品を味わう 子どもたちの拓く新たな世界

講座

講師／出雲 俊江 氏(筑紫女学園大学文学部教授)

日時／11月24日(土) 14:00～16:00

\*手話通訳、要約筆記が必要な方は10月31日(水)までにお申し込みください。

子どもたちの投稿作品から見えてくる「赤い鳥」の魅力について解説していただきます。

【会場】広島市立中央図書館 3階 セミナー室

【定員】先着60名(要申込)

【申込】10月2日(火)9:00から受付開始

【申込方法】来館、電話、FAX、ホームページの専用フォーム

\*申込に際しての個人情報は、この講演会、講座のみに使用し、他に提供することはありません。

\*この講演会、講座は、広島市高齢者いきいき活動ポイント対象事業です。

お問い合わせ、講演会・講座の申込

広島市立中央図書館

〒730-0011 広島市中区基町3番1号 TEL/082-222-5542

FAX/082-222-5545 URL/http://www.library.city.hiroshima.jp/

